〈主催〉沖縄県
〈主管〉沖縄県平和祈念資料館

令和８年度

平和への思い（ウムイ）発信・交流・継承事業

参加学生募集（沖縄）

11/22日 - 29日

上記日程に加えて、事前学習を実施。
詳細は裏面をチェック！！！

沖縄・長崎・広島・韓国・台湾・
ベトナム・カンボジアの学生たちが集い
平和について共に考えます。
あなたも参加してみませんか？

Hope for Peace
2026

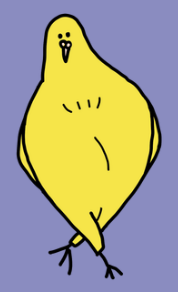
- 参加費・食費・宿泊費無料
- 沖縄県内の視察・学生交流

詳細は裏面

令和8年度

平和への思い（ウムイ）発信・交流・継承事業 募集要項

〈主催〉沖縄県
〈主管〉沖縄県平和祈念資料館



事業目的

悲惨な戦争体験などを有する地域の学生同士が、平和学習を通して交流し、互いに理解を深める。

令和7年度の事業の様子をご覧いただけます。（YouTube動画）

事業内容

① 各地域で学習テーマについて事前学習を行う
② 参加者は発表資料・発表原稿を作成する
③ 沖縄県内での宿泊学習（共同学習）に参加する
④ 学習の成果をシンポジウムで発信する

※使用言語は主に日本語（通訳を配置）

応募条件および人数

①沖縄県内の大学生及び大学院生　5名
②事前学習を含む全日程に参加可能な者
③各地域の代表として学習に積極的に取り組み、国籍や文化の異なる仲間と協働できる者
④他者の発言を理解しようと努め、必要に応じて自分の意見を変えることができる者
⑤外国語でのコミュニケーションを楽しめる者

備考

- 参加者は応募内容、面接等にて選考予定。
- 英語力・他の参加地域の母語の能力があれば選考においてこれを考慮する。
- 海外への派遣経験等があれば選考においてこれを考慮する。
- 共同学習にかかる費用（宿泊費・交通費・食費・施設入場料等）は、事業主催者が負担する。

学習テーマ

沖縄	沖縄戦
長崎	長崎県における原爆投下
広島	広島県における原爆投下
カンボジア	ポル・ポト政権下の大虐殺
ベトナム	ベトナム戦争
台湾	2.28事件
韓国	済州島4.3事件

各地域の参加者は上記の学習テーマについて、以下の点を踏まえた発表資料を作成する。

- 歴史的な事実が起きた背景
- そこから得られる教訓
- 平和な社会の創造・維持のため継承すべきこと
- 各地の平和関連施設の設立経緯、平和な社会づくりにおける役割、課題など

スケジュール

1. 各地域での事前学習

期間　指導者と参加者が日程調整の上で実施

概要
①共同学習用プレゼン資料の作成
左下「学習テーマ」参照、日本語か英語で作成
（日本語７分＋通訳７分）
②オンライン共同学習用プレゼン資料の作成
内容：各地域の紹介＋学習テーマ紹介
（日本語６分＋通訳６分）
③オンライン全体研修への参加
日時：2026年10月24日（土）14:00～17:00（日本時間）

2. 共同学習（７泊８日）

期間　11/22(日)～ 11/29(日)　移動日含む

概要
①各地域の発表、ディスカッション
②沖縄県内の視察
③シンポジウム（成果発表会）の実施

共同学習スケジュール（予定）

	午前	午後
11/22 (日)	県外・海外参加者沖縄入り	
11/23 (月)	オリエンテーション	チームビルディング 対話に関する研修
11/24（火）	開会式 講義：平和博物館	視察：沖縄県平和祈念資料館、平和の礎
11/25（水）	地域別発表	ディスカッション
11/26 (木)	視察：嘉数高台公園	ディスカッション
11/27 (金)	ディスカッション	シンポジウムの準備
11/28 (土)	リハーサル	シンポジウム・閉会式
11/29（日）	参加者解散（海外・県外参加者　離沖）	

※視察や講義の中身は変更の可能性がある。
※ディスカッションの一部では英語を使用することがある。

宿泊先・食事・生活

- 那覇市内のホテル（シングルルーム／朝食付き）に宿泊
- 昼食・夕食は弁当やレストランを利用または定額食費を参加者が受領し各自で食事を行う。
- その他細かいルールについては合格者に追って連絡する。

その他

共同学習期間が大学の後学期中であるため、必要に応じて沖縄県平和祈念資料館より大学側へ当該学生が事業に参加している証明書類を発出することが可能である。

申込/お問い合わせ

QRコードより応募フォームにアクセスし必要事項をご記入ください。

7月21日（火）〆切

（お問い合わせ：事業事務局）
特定非営利活動法人 沖縄平和協力センター
098-866-4635
http://www.opac.or.jp
higuchi@opac.or.jp（樋口）